

台湾休閒農業に関する主要文献の概要紹介

鍾雲瓊[†]・秋山邦裕

(農業経営学研究室)

平成26年 9 月30日 受理

要 約

休閒農業は旅行業と農業を融合した新たな産業として、世界的に注目されている。本論文は休閒農業の概念、属性特徴、分類、背景、機能、既存の問題などから、台湾の休閒農業に関する文献紹介を主たる目的としている。また、台湾の休閒農業がこれからの発展の方向に関する解説を行った。

キーワード：休閒農業、台湾農業、新農村

はじめに

台湾の休閒農業は1960年代から展開しており、施設、経営などが充実しており、成果を上げている。本論文は近年の台湾休閒農業に関する研究文献整理を行い、それらの文献の概要を紹介する。

今回、台湾の著書 9 冊を対象として紹介する。また、それらの文献を 2 つの種類に分ける：基本理論と事例紹介

I 基本理論の研究

1. 休閒農業の定義

休閒農業は新興産業であるため、さまざまな定義が用いられている。研究の立場によって定義が異なる。海外では、休閒農業は「holiday farms」「recreational farms」あるいは「farms tourism」と呼ぶ。中国には、観光農業、農村旅行、田園農業、休閒農業、生態農業など10種類以上の呼び方がある。台湾の農業発展条例第 3 条第 5 項で、「休閒農業は田園景観、自然生態と環境資源を利用して、農林漁牧生産、農業経営活動、農村文化及び農家生活を結合し、国民に休閒を提供して、国民が農業と農村への体験を増加することを目的とする農業経営である。[1]林詩音が『台湾の休閒農業』の中で、休閒農業という言葉はレジャー産業から得たとしている。レジャー産業は休閒サービスを提供して、人間の休閒需要を満足する産業と説明されている[2]。陳昭郎は『休閒農業概論』の中で、「休閒は社会階級分化の産物で、有産階級の富の象徴である」[3]と述べている。

2. 休閒農業の属性と特徴

休閒農業に対して、主に対象、性質、特徴などの方面から研究が行われている。陳昭郎は休閒農業には以下の特性を指摘している。①休閒農業の資源は主に農業資源である。

②休閒農業は生産、生活、生態、三生一体の農業経営方式である。③休閒農業は農業生産、農業加工と農業サービスなど三次産業の農企業である。④農業資源の活用により、国民に休閒を提供して、農業と農村における体験の機会を増加する。⑤休閒農業が提供した休閒製品、活動とサービスにはサービス業製品の特徴がある。⑥供給弾力性が小さい[4]。廖樹宏は『新休閒、新農村』の中で、「休閒農業は一つの土地を利用する新観念で、一次、二次、三次産業を結合し、栽培力、負荷力と区位优势を発展するための総合的なサービス業である」としている[5]。

3. 休閒農業の分類研究

台湾における休閒農業は40年以上の発展の歴史を有して、さまざまなタイプが生まれている。段兆麟は『休閒農業－体験の観点』で、台湾休閒農業を 4 種類に分類している[6]。

①休閒農場－休閒農場 (図 1)、休閒林場、休閒漁場、休閒牧場



図 1 花露休閒農場

出所：<http://www.taiwanfarm.com.tw/>

[†]：連絡責任者：鍾雲瓊 (農学研究科農業経営研究室)

Tel: 080-4394-8646, E-mail: yunqionzhong@gmail.com

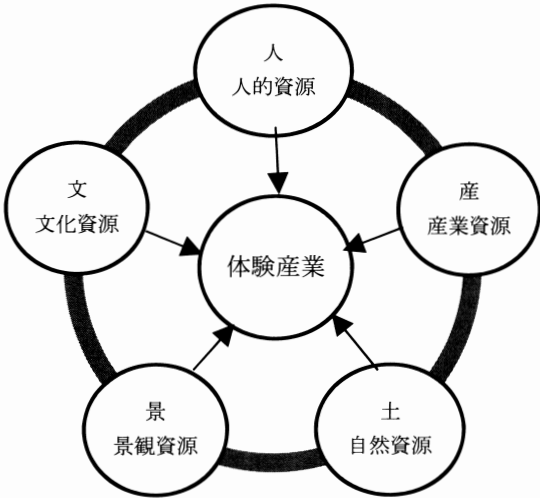


図2 体験的な農業資源の構図
出所：廖樹宏『新休閒，新農村』

- ②観光農園－観光果樹園，観光花園，観光野菜園，観光茶園
- ③教育農園－農作類，森林類，漁業類，牧畜類
- ④市民農園－野菜畑類，果樹類

陳德星，陳埤吉は『休閒農業概論』で，休閒農業の経営形態によって，休閒農業を観光農園，体験農園，教育農園，休閒農業区，休閒林場，休閒漁場，休閒漁業，民宿に分類している[7]。

廖樹宏は農業農村の資源は自然資源，景観資源，産業資源，人的資源，文化資源など五種類に分けて，体験式産業の発展として把握している（図2）。消費者体験的な農場と生産者経営の農場に分けた。また，経営形態によって，休閒農業は家族式農場，会社式農場，合作式農場，公営農場などに分類されている[8]。

林詩音は休閒農業を農業生産類と農村生活生態類と分けた。農業生産類の休閒農業には果実類，酪農類，花卉類，有機栽培類を含む。農村生活生態類の休閒農業は生態解説類，主題類，総合類がある[9]。

陳昭郎は経営方式と活動の目的によって，休閒農業を生産手段利用型，農産物を収穫体験型，場所提供型，综合利用型に分けた。経営主体と面積によって，休閒農業は単独資本経営，会社経営，農民専門経営，共同経営，合作経営，公営経営が分けられている[10]。

- ・利用形態分類：農産物直接利用型，農作過程利用型，農業環境利用型，農村社区利用型。
- ・区位性分類：都市近郊型，農村型，山地型，海辺型。
- ・功能性分類：休憩型，教育型，医療型，総合型。

4. 背景と条件

休閒農業の発展の背景に関しては，多くの研究がある。その研究成果は，以下のようにまとめられる。

陳昭郎は6つの背景について述べている。

(1) 産業構造の変遷

台湾の農業就業人口は1964年の54.8%から2002年の7.5%にまで急速に減少した。また，農業GDP率は1971年の13.07%から2001年の1.91%までに減少した。農業は従来の一次産業から多次元経営産業へと転換し，農業産業は生産，

表1 経済成長率構造の変動

年別	農業GDP率(%)	工業GDP率(%)	サービス業GDP率(%)
1966	22.52	30.52	46.93
1971	13.07	38.94	47.99
1976	11.37	43.17	45.46
1981	7.03	45.47	47.23
1986	5.55	47.11	47.34
1991	3.79	41.07	55.14
1996	3.19	35.72	61.09
2001	1.95	31.09	66.96
2002	1.86	30.03	67.11

資料出所：農業委員会，農業統計年鑑，2002。

生活，生態，旅行，景観及び文化資源を結合する産業に発展してきた（表1）。

(2) 都市化社会の発生

都市化は1954年の30%から2002年の78.3%にまで増加してきた。すなわち，台湾の約8割の人が都市に住んでいる。都市人口の増加により，公園，緑地と休憩所などの施設が不足するようになった。

(3) 国民所得の増加

経済発展に伴い，国民の所得は年々に増加し，現在の台湾国民の所得は1万2千ドルに致した。国民は物質を追求するだけではなく，精神的生活を追求する余裕を有するようになった。特に，休閒活動は国民の生活の一部になった。

(4) 消費構造の変化

所得の増加に伴い，年々に国民は衣食住の方面への費用が少なくなり，交通，トレーニング，娯楽の方面への費用が多くなりつつある。それは国民の観光旅行への需要増加に表れている。行政院主計所の民間の消費構造調査報告によれば，国民の娯楽，教育と文化サービスへの支出費用比が1989年の15%から2000年の19%へと，この10年間で4%を増加している。

(5) 休閒時間の増加

工業化と機械化の進展により，国民の働く以外の時間が増え，休閒活動に参加する時間も増えてきた。経建会の調査によれば，休閒活動に参加する時間が一人平均1989年2,600時間，1995年2,787時間，2000年2,849時間と増加している。旅行した人は1989年5,857.2万人で，1996年8,255万人になって，2000年10,762.7万人と増加している。したがって，遊びと休憩への需要も増えてきた。また，交通観光局からの国民旅行状況に関する調査によれば，国民の国内旅行は1999年7.2万回で，2002年10.6万回と3年間で46.3%を増加している。

(6) 道路と交通の改善

近年の30年間に台湾政府は交通運送と道路の改善に大量の資金を投入し，車の数量が急速に増えてきたために，公共交通と個人の児童車交通の発達をもたらした。どんなに辺鄙で遠い所へでも，車で個々の家の前に着ける。休閒旅行地域の開発は人を引き付けて，観光旅行に盛んになった[11]。

5. 休閒農業の機能

陳昭郎、段兆麟などの学者たちは休閒農業について、以下の主に7つの機能を説明している。

(1) 経済的機能

休閒農業は新たな農企業として、経済目標から見て、主に農業生産構造を改善、農村経済繁栄をさせ、農村における就業チャンスを増やして、農家の所得を向上させる。

(2) 教育的機能

休閒農業の経営類型、例えば休閒農場、漁場、牧場あるいは観光、教育農園などは自然の広い場所を有してしる。豊かな生態景観環境、生活、民俗、産業文化資源および農業生産過程と農業経営活動などはすべて屋外教育の空間資源になる(図3)。

(3) 社会的機能

休閒農業の社会的機能として、主に四つがあげられる。

①都市と農村の交流の促進、②農村社区の発展、③農村の人の生活の質向上、④都市と農村の格差を縮小。

(4) 環境保護の機能

旅客は休閒漁場あるいは休閒農漁園区で休閒活動をする時、自らの観察、参加、体験の過程において、生物の成長現象を認識したり、命の意義を感じたり、命の価値を体験したり、命の成長の喜びを分かち合う。したがって、休閒農業資源は環境教育にとって最適な教材である。また、休閒農場も環境教育を実施する最適な場所で、環境理論を育成する最適な方式である。

(5) 遊びと休憩の機能

交通部観光局の国民の旅行状況の調査(2001年)によれば、国民が休閒活動経験の中で、約七割の人達は「自然観賞活動」を好きで応えている。休閒農業が民衆に提供する場所は主に自然景観、生態環境になっているので、大多数の人の自然観賞活動へ需要を満足できる。

(6) 医療機能

自然景観、環境は人に心理的あるいは身理的な反応を生じさせることが国内外の専門学者によって実証された。台湾の多くの休閒農場あるいは民宿は景色が美しい、生態が豊富、気候温暖なところに位置しているため、さまざまな自然、農業、人文と文化資源を持っている。適切に利用し、国民に休閒場所に提供すれば、仕事と生活のストレスを解消できる。特に慢性病がある人にとって、休閒農所は最適

な心身調節、養生保健の場所となる。

(7) 文化機能

文化は有形文化と無形文化とに分けられる。有形文化は人間が創造した、使われる器物などを示し、無形文化は見えない、あるいは触えないものである。台湾の農村にはさまざまな豊かな文化を持って、有形文化にしろ、無形文化にしろ、伝承と創造には特色と格調が表れている。都市住民にとって、それらの文化は過去の自分の体験あるいは先人の生活の経験であった。

それら以外、他の見方もある。例えば、廖樹宏は休閒農業が政治性、制度性の機能があると考えている[12]。陳墀吉はサービス、伝播する機能もあると考える[13]。

6. 休閒農業の発展戦略

陳昭郎は、台湾農家の生産面積が狭く、生産資源が有限なため、単独の農家では休閒農業を経営と発展することが難しいため、休閒農業を発展するには、各農家の生産資源と自然資源を結合し、合作経営という戦略が必要であるとしている。合作経営の理論には以下の五つがある。①資源依拠理論、②交易コスト、③理論製品のバリュー・チェーンを延長する理論、④規模の経済の理論、⑤組織学習理論。また、休閒農業の合作経営戦略には組織内と組織外という二つがある。組織内の合作経営戦略とは、農民が結合参加する行為である。台湾の休閒農業の経営組織形態は七つの類型がある。すなわち、合作経営、単独資本経営(家族農場)、会社経営、公営経営、農会経営、委員会経営(分営経営)、共同経営である。

農民合作経営には、①資源利用の計画効率を高める、②資源利用の効率を高める、③運営リスクを減少する、④個別の農民の生産技術と管理能力を高める、⑤農民の凝集力を強化する、というメリットがある。

台湾の休閒農業の組織外の合作経営の戦略は四つがある。同盟型、水平整合型、垂直整合型、共同出資型である[14]。

陳德星、陳墀吉は、休閒農業を発展するには、販売戦略と経営戦略との2つの戦略があると述べている。販売戦略は内部的と外部的に分けられる。外部的な組み合わせは製品、場所、価格、宣伝という4つの戦略を含んでいる。内部的な組み合わせは、人、設備、プロセス管理などの戦略がある。この7つの戦略は相互協力しながら運営をする。例えば、①現有の資源を結合して、休閒農業の内容を充実する。②休閒農業と観光事業との結合を拡大することによって、共同の利益を増加する。③消費者の需要を創造して満足を与える。④地域農業と自然生態に関わる保全運動とイメージを創造して推進する。⑤休閒農業の品質を管理する。⑥休閒農業の研究開発と教育を推進する。

休閒農業には、農業環境と資源、経営と管理、旅行参加者という3つの経営発展の要素がある。この3つの要素はお互いに影響し合い関連しながら、休閒農業を発展する基本とも言われている[15]。

休閒農業の経営発展戦略について、休閒農業の全体計画と、社区とを結合して一緒に建設する、休閒農業園区を建設する方面から説明している[16]。

段兆麟は休閒農業の経営管理について、機能によって、



図3 宜蘭香格里拉農場

出所: <http://www.taiwanfarm.com.tw/>

経営戦略、業務管理、販売戦略、解説サービス管理、運営管理、環境管理から説明している。その中、業務管理には生産管理、レクリエーション管理、飲食管理と宿泊管理などが含まれる。運営管理は人力資源管理、財務管理、情報管理、経営診断などが含まれる。環境管理は、景観管理、環境保全、施設管理、安全管理などが含まれる[17]。

廖樹宏は、健康教室の戦略連盟、養生レストラン戦略連盟、養生商店戦略連盟、養生基地戦略連盟、電子商取引戦略から休閒農業の発展戦略を説明している[18]。

7. 休閒農業が直面している問題

陳昭郎は、現段階の休閒農業は発展方向の不明確であり、法律の制限問題、経営形態問題、管理機関の権限問題、資本と人材の不足問題、という5つの問題に直面していると考えている。

段兆麟は現段階の台湾の休閒農業の問題として、以下諸点を指摘している[19]。①休閒農場の創設には、土地、営建、環保などの法律面の制限が大きい。②休閒農場の申込みの登録と休閒農業区の審査の手続きが複雑である。③休閒農業に関する法律のレベルが低いために、休閒農業の発展に不利な規定を突破できない。④多数の休閒農場は登録していない。⑤休閒農場の経営專業の強化が期待されており、サービスの品質向上が必要である。⑥休閒農業はまだ観光システムの指導と販売に含まれていない。⑦休閒農業の指導は農場転換の扶助に偏っており、経営が成熟している大型休閒農場への指導の政策が少ない。⑧休閒農業の集約的發展は普及していない。⑨農業休閒産業はまた整合的な發展を遂げていない。⑩休閒農業の国際化が必要である。

8. 台湾の休閒農業の發展の方向

段兆麟は台湾の休閒農業がこれから發展の方向を次のように予測している。

①特色化—資源を利用し、農村文化を結合し、農場の特色を作る。②体験化—旅客の参加を重視しており、体験活動を設計する。③知識化—ガイドの解説と結合して、自然教育の機会を提供する。④生態化—自然環境を維持して、生態旅行を提供する。⑤健康化—養生機能を發揮して、健康を促進する。⑥合法化—法律を守りながら経営する。⑦地域化—地域を範囲をとって、集約經濟のメリットを發揮する。⑧精製化—サービスの質を高めて、精製化で経営する。⑨効率化—現代化の管理システムを導入して、経営功績を高める。⑩休暇化—長期宿泊市場を開発して、農村經驗を提供する。⑪融合化—農村主体性を維持して、農村と都市の交流を促進する。⑫国際化—視野を拡大して、国際旅行市場に入る。

II 事例紹介

1. ガイドブックの紹介

台湾休閒農業の事例を紹介する本は4冊を紹介しよう。『元氣散歩』（行遍天下特搜小組，2005年）『活力散歩』（行遍天下特搜小組，2006年）『台湾農場の自由行』（金時代出版社，2005年），と『主題農場』（環興出版社，2008年）である。



図4 向陽農場の向日葵
出所：<http://www.sun-green.com.tw/>

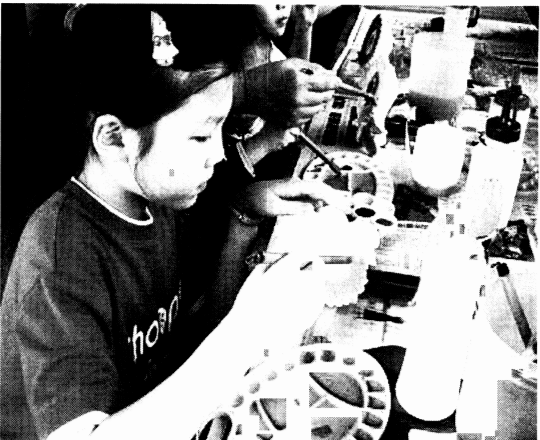


図5 向日葵DIY体験
出所：<http://www.sun-green.com.tw/>

農 場	向陽農場sun&green-向日葵主題農場
場 所	桃園縣觀音鄉藍埔村11鄰52號
營業時間	09：00~18：00（月曜日定休）
入 場 料	無料
電話番号	03-480629 03-4971202
アドレス	http://www.sun-green.com.tw/
E-mail	sungreen001@yahoo.com.tw
消 費	向日葵一枝10元，客家風味食100元/1人，行程コース300元以上

『元氣散歩』は台湾の48か所休閒農場区の資料を収集している。その48か所の休閒農場区は宜苗竹，花東などの11か所の県市に広がっている。また，300以上の特色をもっている観光地を紹介している。それらの観光地は海外の高品質の保養地と同等のレベルである。例えば，宜蘭の「逢春園渡假別荘」，水里の「老五民宿」，香格里拉の「休閒農場」，到二水郷の「鼻仔頭」，台東「卑南郷高頂山」，東勢鎮「軟碑坑」，「大甲匠の故郷」など新興休閒農業園区である。そして，観光地に関する食べ物，遊び，買い物，観光，住宅，交通などの情報を紹介している。さらに，民宿主や農場主の農場あるいは民宿に関する考え方も紹介している。『活力散歩』は台湾の130か所の休閒農場を紹介してい

る。ファーム富田に負けない大溪花田區、南フランス風情の向日葵田園、耕作を体験できる農園、山の中の静寂な牧場、豊かな生態資源を持っている農場から子供らしい体験活動、採果田園楽、人文芸術風情まで紹介している。

『台湾農場の自由行』は地区により台湾の103か所の休閒農場を紹介している。それらの農場ではすべて観光客の食、楽、住、行の需要を満足できる。『主題農場』では台湾の40か所の農場を五種類に分けて紹介している。また、旅行指針、全台湾の花果の季節時間表と各種類の知識、特色美食を紹介しており、読者に豊かな情報を提供している。

2. 事例一向陽農場

18,000坪ほどの敷地を持つ北台湾で最大の向日葵農場を誇る「向陽農場」は、経営者が日本のファーム富田のような圧倒的な花波を目指して1989年に向日葵を主題としたこの農園を創立した。

園内には12種類以上の向日葵を植えており、花狩りを提供するだけでなく、向日葵の栽培過程も紹介する。また、向日葵の手作り工芸品を展示販売し、色々な向日葵料理を揃えており、一面黄金色に輝く向日葵の花の波を楽しみながら、アフタヌーンティーや新鮮な向日葵料理を味わえる。

向日葵のほか、四季によって異なる色彩を表現し、12～4月にはラベンダーとキンギョソウ、1～4月にはヒエンソウ、5～6月には鉄砲百合、11～12月にはカイウなど美しい花の波を満喫できる。さらに、小学校や幼稚園の子供向けの向日葵王子様がストーリーを語り、向日葵DIY体験、向日葵畑ピクニックなどの戸外活動を提供する(図4、5)。

終わりに

本論文は休閒農業の概念、属性特徴、分類、背景、功能、既存の問題、戦略などから、台湾の休閒農業に関する文献紹介をした。また、具体的な事例として、向日葵主題農場一向陽農場を紹介した。休閒農業の研究に資することを願っている。

参考文献

- [1] 段兆麟：『休閒農業－体験的観点』p.7, (2006), 華杏出版社。
- [2] 林詩音：『台湾の休閒農業』p.14, (2005), 遠足文化事業株式有限会社。
- [3] 陳昭郎：『休閒農業概論』p.2, (2007), 全華圖書有限会社。
- [4] 陳昭郎：『休閒農業概論』pp.25-27, (2007), 全華圖書有限会社。
- [5] 廖樹宏：『新休閒, 新農村』pp.11, (2008), 商訊文化事業株式有限会社。
- [6] 段兆麟：『休閒農業－体験的観点』pp.151, (2006), 華杏出版社。
- [7] 陳德星, 陳堉吉：『休閒農業概論』pp.34-35, (2005), 威仕曼遠足文化事業株式有限会社。
- [8] 廖樹宏：『新休閒, 新農村』pp.26-36, (2008), 商訊文化事業株式有限会社。
- [9] 林詩音：『台湾の休閒農業』pp.76-110, (2005), 遠足文化事業株式有限会社。
- [10] 陳昭郎：『休閒農業概論』pp.25-27, (2007), 全華圖書有限会社。
- [11] 陳昭郎：『休閒農業概論』pp.38-43, (2007), 全華圖書有限会社。
- [12] 廖樹宏：『新休閒, 新農村』pp.14-16, (2008), 商訊文化事業株式有限会社。
- [13] 陳德星, 陳堉吉：『休閒農業概論』p.27, (2005), 威仕曼遠足文化事業株式有限会社。
- [14] 陳昭郎：『休閒農業概論』pp.59-64, (2007), 全華圖書有限会社。
- [15] 陳德星, 陳堉吉：『休閒農業概論』pp.170-173, (2005), 威仕曼遠足文化事業株式有限会社。
- [16] 陳德星, 陳堉吉：『休閒農業概論』pp.108-109, (2005), 威仕曼遠足文化事業株式有限会社。
- [17] 段兆麟：『休閒農業－体験的観点』pp.300-324, (2006), 華杏出版社。
- [18] 廖樹宏：『新休閒, 新農村』pp.121-140, (2008), 商訊文化事業株式有限会社。
- [19] 段兆麟：『休閒農業－体験的観点』pp.381-384, (2006), 華杏出版社。
- [20] 段兆麟：『休閒農業－体験的観点』pp.388-390, (2006), 華杏出版社。
- [21] 『元氣散歩』：行遍天下特捜小組, 2005。
- [21] 『活力散歩』：行遍天下特捜小組, 2006。
- [22] 『台湾農場の自由行』：金時代出版社, 2005。
- [23] 『主題農場』：環興出版社, 2008。

The Introduction of Literatures about Taiwan Leisure Farm

Yunqiong ZHONG[†] and Kunihiro AKIYAMA
(*Laboratory of Farm Management*)

Summary

As a new industry, the Leisure Farm, an idea that brings together travel and agriculture is attracting attention world-wide. The objective of this article is to introduce the concepts, characteristics, classifications, contexts, functions, and existing problems of Taiwan Leisure farms. In addition, it will describe their future development.

Key words: Leisure Farm, Taiwan Agriculture, Future Development

[†]: Correspondence to: Yunqiong ZHONG (Laboratory of Farm Management)
Tel: 080-4394-8646, E-mail: yunqiongzhong@gmail.com